

但馬地方におけるラミーカミキリの記録

谷角素彦

ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* は、江戸時代後期に長崎県に侵入した帰化昆虫で、その後分布を広げ、九州・四国全域はもちろん、本州でも日本海側は福井県まで、太平洋側は関東地方まで記録が見られる。

ラミーカミキリといえば、いまから10数年前ごろは、但馬ではめったに目にすることのない虫であった。筆者が高校生だった1970年代初め、豊岡高校生物部の合宿で登った氷ノ山東尾根で、遠藤知二君がエメラルドグリーンと黒色の斑模様をした美しいカミキリムシをネットにしたのを覚えている。これが、筆者とこの虫の初めての出会いであった。この虫に再会したのは、1976年8月、日高町阿瀬渓谷においてである。このときは、自らの手で採集した。これらの体験から、ラミーカミキリは山地の虫というイメージを漠然と抱いていた。

ところが1980年代に入って、この虫が但馬各地で記録されるようになり、自らも採集するにおよんで、むしろ平地から低山地に分布を拡げている種だということが実感できるようになった。ほとんどの場合、堤防や集落の裏山に繁茂しているカラムシやヤブマオでみられる。これらを食草にしているキタテハやアカタテハの生息場所を思い浮かべてみると、その分布様式を理解しやすいだろう。

美麗種のため、カミキリ屋に限らず虫屋の採集欲をそそるようで、蝶屋の標本箱に収められていることも多い。また、斑紋も顕著で、同定を誤る近似種もなく、各会員からデータを集めるのも比較的容易である。当会の注目昆虫の1つとして、データも集積されているので、この機会にまとめておきたい。

〈データ〉

朝来町青倉（1982-VI-27,1ex.,上田），羽瀬（1980-VII-15,4exs.,木下）

養父町谷間地（1987-VI-27,1ex.,上田）

和田山町内海（1987-VI-14,1ex.,山崎；1987-VII-14,1ex.,山崎），玉置（1987-VII-11,1ex.,上田）

八鹿町栄町（1981-V-27,1ex.,上田；1981-VI-30,1ex.,上田；1981-VII-11,1ex.,上田；1982-VII-22,1ex.,上田），日畠（1981-VI-11,4exs.,加野・谷角），妙見山（1987-VI-14,2exs.,上田）

関宮町氷ノ山（1980-VII-21,3exs.,上田）
村岡町村岡（1987-VII-2,1ex.,佐藤），耀山（1981-VII-12,1ex.,谷角），粗岡（1982-VI-6,1ex.,島田；1986-VII-19,1ex.,佐藤）
美方町加治屋（1981-VII-4,1ex.,足立），小代渓谷（1981-VII-18,1ex.,島田），大谷（1982-VII-3,2exs.,谷角）
温泉町霧ヶ滝（1984-VII-1,1ex.,佐藤；1987-IX-6,1ex.,佐藤）
浜坂町城山（1986-VI-15,1ex.,黒井；1986-VI-30,6exs.,前平；1987-VII-12,1ex.,谷角）
日高町赤崎（1980-VI-25,5exs.,木下；1980-VII-16,8exs.,足立；1986-VI-6,3exs.,木下），阿瀬渓谷（1976-VIII-23,1ex.,谷角；1987-VII-22,1ex.,上田），大岡山（1987-VII-22,2exs.,上田），久田谷（1987-VI-18,4exs.,木下），鶴岡（1986-VI-2,22exs.,前平；1986-VI-4,10exs.,前平；1986-VI-8,8exs.,前平；1986-VI-22,2exs.,前平），上ノ郷（1980-VI-23,3exs.,木下；1986-VI-8,1ex.,前平；1986-VI-13,2exs.,前平；1986-VI-22,11exs.,黒井；1986-VIII-11,2exs.,前平；1986-VIII-13,2exs.,前平；1987-VII-6,1ex.,上田）
豊岡市妙楽寺（1980-V-30,1ex.,木下；1980-VII-18,2exs.,木下）*，大磯（1985-VII-21,1ex.,木下），伊賀谷（1983-VI-29,1ex.,上田）
*このほかに妙楽寺では、筆者が1977年7月に1ex.を目撃している。
城崎町来日（1986-VII-18,4exs.,木下）
竹野町竹野（1986-VI-21,1ex.,本庄）
出石町桐野（1987-VI-20,1ex.,足立）
このほか、豊岡市上佐野（高橋，1987）と関宮町氷ノ山・鉢伏（高橋，1980）の記録がある。氷ノ山の記録は、先述した遠藤知二氏の採集品と思われる。

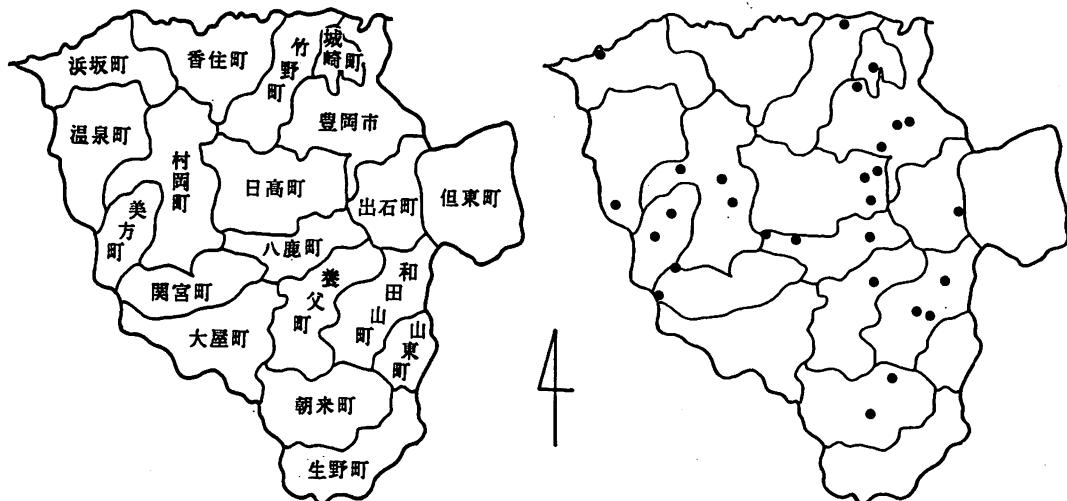
以上のデータを要約すると、

1. 但馬地方では、生野・山東・大屋・香住・但東を除く各市町で記録があり、1980年代になってから採集例が増加している。
2. 採集月日は、5月27日から9月6日にまでわたっており、記録は6～8月に集中している。また、平地ほど発生が早い傾向が窺える。

ラミーカミキリのような帰化昆虫は、時間の経過とともにその分布も様変わり

していくことが予想されるので、今後とも注目していきたい。

最後になったが、データを提供してくださったすべての方々（足立義弘、上田尚志、木下賢司、黒井和之、佐藤邦夫、島田真輔、本庄四郎、前平照雄、山崎喜彦の各氏）にお礼申し上げる。



但馬地方の各市町概念図とラミーカミキリの分布

参考文献

- 高橋 匡 (1980) 但馬地方昆虫目録予報第3報, IRATSUME 4:13-27.
加野 正 (1982) 但馬におけるカミキリムシ採集目録, IRATSUME 6:36-41.
加野 正 (1985) 但馬のカミキリムシⅡ, IRATSUME 8+9:130-139.
佐藤邦夫 (1987) 但馬地方のカミキリムシ, IRATSUME 11:72-90.
高橋寿郎 (1987) ラミーカミキリ豊岡市上佐野に多産, きべりはむし 15(1):28.